

弘前大学国史研究会三十年のあゆみ（昭和31年11月～昭和61年3月）

昭和31年11月30日 『弘前大学国史研究』創刊号発行

昭和32年2月25日 国史研究会第1回集会

10月20日 国史研究会第1回大会

昭和34年6月7日 国史研究会第2回大会

昭和35年10月16日 国史研究会第3回大会

11月1日 『弘前大学国史研究』第23号へ津軽信政特輯号V刊行

昭和37年6月16日・17日 国史研究会第4回大会（昭和37年度東北史学会春季大会と共催）

会春季大会と共催）

昭和39年5月3日 国史研究会第5回大会

昭和40年5月2日 国史研究会第6回大会 当大会において、「弘前大学国史研究会会則」が審議決定された。新会則にもとづいて、

宮崎道生人文学部教授が会長に推薦され、新会員・監事が委嘱

された。

昭和41年4月20日 本会編『青森県の歴史』（青森県地方史文献刊行会刊）刊行。創立十周年記念事業。

4月29日～5月1日 創立十周年記念大会（第7回大会）公開

講演会 4月29日（於八戸市立図書館）（共催 青森県教育

委員会、東奥日報社）坂本太郎氏「歴史と歴史教育」、豊田

武氏「北条氏と東北地方」

4月30日（於弘前市中央公民館）（共催弘前市教育委員会）

坂本太郎・豊田武両氏、小葉田淳氏「江戸時代の貨幣」

5月1日（於東奥日報社ホール）（共催県教育委員会、東奥

日报社）坂本太郎・小葉田淳両氏

昭和42年11月26日 国史研究会第8回大会 当大会において、会則の一

部改正が行われ、規約第3条に「副会長二名」を加えた。新

会則にもとづき、教養部羽賀与七郎教授、教育学部虎尾俊哉

教授が副会長に選任された。

昭和43年3月20日 『弘前大学国史研究』第50特大号へ明治特輯号V刊行

10月27日 国史研究会第9回大会

昭和44年6月30日 『弘前大学国史研究』第53号へ歴史教育特輯号V刊行

昭和45年1月21日 国史研究会第10回大会

公開講演会（於陸奥新報社ホール）森克巳氏「中世史と地方

文書」

昭和46年5月9日 国史研究会第11回大会 本総会において、諒解事項

「委員は弘前市内在住者より選出」の項が削除された。

昭和47年5月14日 国史研究会総会 本会会長宮崎道生教授が岡山大学

法文学部に転任されたため、昭和47年度総会にて、新会長に

虎尾俊哉教授、副会長に藤野道生人文学部助教授が選任され

た。宮崎前会長は本会顧問に就任された。

昭和48年1月16日 研究講演会（於弘前大学人文学部）

服藤弘司氏「藩政史研究上の諸問題」

9月23日 国史研究会昭和48年度大会

公開講演会（於本学人文学部）竹内理三氏「伊場遺跡出土の

木簡」

昭和49年7月14日 国史研究会昭和49年度大会 本総会において、虎尾

会長の海外出張により、昭和49年9月から一年間、羽賀副会

長が会長代行をとめることになった。

公開講演会（於本学人文学部）安田元久氏「鳥羽院政と平忠

盛」

昭和50年10月5日 国史研究会昭和50年度大会

公開講演会（於本学人文学部）佐藤進一氏「武家政権についで」

昭和51年10月3日 国史研究会創立20周年記念大会

本総会において、会則第九条の改正が行われ、会費年額が五

百円、学部学生会員の会費免除が承認された。

公開講演会（於東奥日報社弘前支社ホール）宮崎道生氏「北

奥精神史の一齣」、森克巳氏「知られざる満州事変」

昭和52年8月2日 本会編『津軽史事典』（名著出版刊）初版刊行

昭和53年9月8日 国史研究会昭和53年度大会 本総会において藩政史

研究会の発足が提案され、了承された。

公開講演会（於本学人文学部）益田宗氏「古記録をめぐる二、三の問題」

12月2日

第1回藩政史研究会

昭和54年2月18日 第2回藩政史研究会

4月22日 第3回藩政史研究会

6月24日 第4回藩政史研究会

7月22日 国史研究会昭和54年度大会

公開講演会（於本学人文学部）新城常三氏「東北地方の伊勢

参宮」

10月7日 第5回藩政史研究会

12月9日 第6回藩政史研究会

昭和55年3月2日 第7回藩政史研究会

4月1日 『弘前大学国史研究』第70記念号刊行

4月20日 第8回藩政史研究会

7月27日 第9回藩政史研究会

10月4・5日 国史研究会昭和55年度大会 本総会において年

会費を千円にすることが決定された。

公開講演会（於本学人文学部）宮崎道生氏「新井白石と近世

津軽史」

11月16日 第10回藩政史研究会

12月7日 第11回藩政史研究会

昭和56年2月22日 第12回藩政史研究会

4月12日 第13回藩政史研究会

6月21日 第14回藩政史研究会

10月17・18日 国史研究会二十五周年記念・昭和五十六年度東

北史学会合同大会

公開講演会（於弘前文化センターホール）本堂寿一氏「東北

地方の館について」、石田尚豊氏「華厳美術の日本的展開」

11月15日 第15回藩政史研究会

昭和57年2月14日 第16回藩政史研究会

6月27日 第17回藩政史研究会

7月28日 『津軽史事典』第2版刊行

9月26日 国史研究会昭和57年度大会 本総会において、第5条3項の規約改正がおこなわれ、「委員の互選による代表委員一名を置くことができる」を付け加えることになった。新規約にもとづき、10月23日の本会役員会にて長谷川成一委員が代表委員に選任された。

公開講演会（於人文学部）宝月圭吾氏「室町時代の貨幣流通について」

11月21日 第18回藩政史研究会

12月12日 第19回藩政史研究会

昭和58年2月1日 国史研究会総会 虎尾俊哉会長が、国立歴史民俗博物館に転任されたため、本総会にて、藤野道生人文学部教授が新会長に、小館衷三氏が副会長に選任され、虎尾前会長は本会顧問に就任された。

3月27日 第20回藩政史研究会

5月7日 本会副会長羽賀与七郎弘大名誉教授死去。

6月12日 第21回藩政史研究会

10月2日 国史研究会昭和58年度大会

公開講演会（於本学人文学部）田中健夫氏「中世の対外関係と世界観」

10月16日 第22回藩政史研究会

12月4日 第23回藩政史研究会

昭和59年2月19日 第24回藩政史研究会

4月1日 本会会長藤野道生氏が、聖心女子大学文学部に転任された。

5月13日 第25回藩政史研究会

7月15日 国史研究会役員会

8月21日 国史研究会総会 藤野会長の転任にともない、新会長に長谷川成一人文学部助教授が選任され、藤野前会長は本会顧問に就任された。

10月7日 国史研究会シンポジウム 共通論題「近世津軽の街道について」

12月2日 第26回藩政史研究会

昭和60年7月14日 国史研究会昭和60年度大会

公開講演会（於本学人文学部）瀬野精一郎氏「史料としての古文書利用の問題点」

10月13日 第27回藩政史研究会

12月8日 第28回藩政史研究会

昭和61年2月2日 第29回藩政史研究会